

1, 自己紹介（宮大工養成塾創設者）



金田 優（かなた すぐる）
1986年2月15日生
大阪府柏原市出身
工業高校建築科卒
(株)金剛組：西大寺観音院牛玉所殿大修復事業に携わる
(株)鷗工舎
(株)小島建設
合同会社 金田社寺建築 起業 10 期目
一般社団法人 宮大工養成塾 設立 8 期目

2, 宮大工養成塾とは？

若手宮大工の養成を通じて、地域の神社仏閣を再生する団体になります。
全国から宮大工になりたい若者を募集し、授業料を頂いて、その資金を活用しながら、プロの宮大工と一緒に神社仏閣の再生を行います。

3, 宮大工養成塾の強み

昨今の人材不足・円高・ウッドショックの影響で、建築コストが高騰する中、神社仏閣の建築維持費の負担が増加しています。プロの宮大工1名と宮大工養成塾の塾生が一緒になってプロジェクトを行う事によって、低コストで修復または新築する事が可能になり、神社仏閣の建築維持費の負担軽減を行う事が出来ます。

4, 過去の実績（一部）

宮原神社摂社水主神社新築工事
浄教寺山門・塀・長屋門・本堂修復工事
能満寺山門新築工事
西大寺宝木棚

5, 岡山西大寺校での活動

西大寺境内または周辺の神社仏閣の修復及び新築の作業をプロの宮大工1名と塾生で行っていきます。塾生は、近隣の宿舎より西大寺の木工倉庫に通い、宮大工の生活習慣・礼儀礼節・大工道具の使い方を学ぶ他、実践の仕事を通じて実務経験を積みます。大工仕事以外にも、西大寺の行事設営などのお手伝いを行う事により、仏教の文化に触れる事で建築の根本を学ぶ事が出来ます。